

2010 年 6 月 21 日 野村不動産ホールディングス株式会社

報道関係者各位

「野村不動産グループ環境理念」を策定しました 〈理想の環境クオリティの実現を追求します〉

野村不動産ホールディングス (本社:東京都新宿区/取締役社長:鈴木弘久)は、このたび、「野村不動産グループ環境理念」を策定いたしました。

当環境理念は、現在の地球環境を次世代に引継いでいくことが、当社グループにとっての社会的責務であるとの認識の下、環境との調和ある街や空間を創り育み、「理想の環境クオリティの実現」を追求する意思と姿勢を表しています。

現在、当社グループでは、省エネ・ロングライフ設計や住宅事業における「プラウドエコビジョン」の採用など、さまざまな環境問題への取り組みを行っております。今後も、当理念に基づき、環境に配慮した街や空間の創造のみならず、人々が住み、働き、憩うという営みそのものが環境に配慮したものとなるよう、開発・管理・運営・仲介などそれぞれの事業分野において積極的に取り組んでまいります。

野村不動産グループ環境理念

美しい地球を未来に継承するために、 自然の力と恵みを活かし、 環境との調和ある街と空間を創り育むことが、 グループの使命であると考えます。

私たちは、 高い志を持ち、環境への感度を高め、 理想の環境クオリティの実現を追求していきます。



~当社グループの環境への取り組み実績のご紹介~

■「住む」エコ

《プラウドエコビジョン ~「へらす」「つくる」「いかす」≫

野村不動産では、分譲マンション「プラウド」の開発において、「身近な暮らしの中で実感できるエコ」を基本観とし、省エネ技術・省エネ設計を標準仕様化することで、社会=地球環境に貢献するエコを目指し、「プラウドエコビジョン」を策定しております。



プラウドエコビジョン採用物件

【プラウドシティ池袋本町】(2011年3月竣工予定)

JR埼京線「板橋」駅徒歩2分に立地する、総戸数785戸の駅前大規模複合開発プロジェクト。 2.0haを超える広大な敷地内には、約2300㎡の緑豊かな中庭「ガーデンアリーナ」を計画しています。また、谷端川児童遊園(都市公園)の再整備、豊島区へ緑地提供など、住まう方のみならず地域の方々の暮らしにも貢献する計画を取り入れました。

「へらすECO」

- ・ 二重サッシや複層ガラスの採用により「次世代省エネ基準」で断熱等級4の基準に適合。東京都マンション環境性能表示においては「建物の断熱性」で3つ星となります。
- ・ 高効率型給湯器「エコジョーズ」やエネルギー消費量が見える「エネルックリモコン」や 「保温バス」といった省エネ設備の充実。
- ・ 野村不動産と国内電気メーカーと共同開発した「マルチランプ・ダウンライト」を全戸に 標準装備し、消費電力が低く長寿命のLEDランプにも対応可能。
- ・キッチンにディスポーザを標準装備することで台所まわりのごみの量を低減。

「つくるECO」

- ・ 共用部の電力の一部に太陽光発電による自然エネルギーを活用し、その発電量の「見える 化」を実施。
- ・ 再利用システムにより雨水を一時的にタンクに貯留し、共用部のトイレ排水などに利用する自然資源の活用。

「いかすECO」

- ・住宅棟8棟の配棟計画や住戸プラン、植栽計画の工夫で日射遮蔽や風の通り道を効果的に確保するなど入居者の快適性を高める「パッシブデザイン」を採用。
- ・3台のハイブリッドカーを採用した「カーシェアリング」や40台の「レンタサイクルシステム」を導入。







▲ 太陽光発電パネル(参考写真)

◀ プラウドシティ池袋本町完成予想図

■「働く」エコ

【日本橋室町野村ビル】(2010年9月末竣工予定)

「日本橋室町東地区」2-4街区における再開発事業。 Low-Eペアガラス採用、屋上緑化、テラス緑化、自然採光、水 冷パッケージ、電気室外気冷房、水の再生利用(雨水、冷却 塔ブロー水、空調ドレン水)、駐車場換気量のCO2濃度制御 など、最先端の省エネルギー対策技術を導入。グリーン電力の 購入、屋上緑化によるヒートアイランド現象の緩和に向けた対 策など、CO2増加率を抑制します。

日本橋室町野村ビル完成予想図 >



【PMO(プレミアム ミッドサイズ オフィス)】



Low-Eペアガラスの採用、CO2排出を抑える高効率空調システム導入(1階ロビー)、セキュリティと連動した照明・空調の自動オフ機能、屋上緑化など環境に配慮した設計を施しています。「PMO秋葉原」「PMO八丁堀II」では建築物環境性能評価「CASBEE」においてAランクの評価を取得しました。

また、「PMO日本橋二丁目」(2011年7月末竣工予定)では、PMOシリーズ初の太陽光発電を導入します。

✓ PMO秋葉原外観



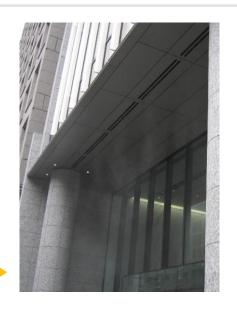
■「憩う」エコ

【御堂筋野村ビル】 (2009年2月竣工)

Low-Eペアガラスや照度センサー付照明、屋上緑化やビルトインドライミスト装置設置など、温暖化防止対策に配慮し、建築物環境性能評価「CASBEE大阪」においてAランクの評価を取得しました。

また、大阪府温暖化等の防止に関する条例に基づき顕彰される「大阪サステナブル建築賞」特別賞を受賞しております。

道行くひとにも潤いをもたらすドライミスト装置を設置



【ザ・センター東京】 (2008年2月竣工)



屋上庭園「オーバルガーデン」が「第8回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」屋上緑化部門にて国土交通大臣賞を受賞しました。「オーバルガーデン」は、子育てや居住者の交流の場として、キッズガーデン・パーティガーデン・クラブハウスより構成され、クラブハウスにはキッズルームとキッチンスタジオも完備しています。

ザ・センター東京の屋上庭園「オーバルガーデン」

【「ホタルのすむ街づくり」展開催】

大規模業務系複合開発「横浜ビジネスパーク」において、 地域とのコミュニケーション強化の一環として、毎年6月 に「ホタルのすむ街づくり」展を開催し、ホタル観察会や めだかの放流会、ビオトープ教室などを行います。

「めだかの放流会」を楽しむ子供たち



以上

本件に関するお問い合わせ窓口 野村不動産ホールディングス株式会社 広報 IR 部(石川・柿原・田村)

TEL03-3348-8117.FAX03-3343-0445